

平成30年度 維持管理状況(4月1日～30日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力 t/日	炉番号	処分した 一般廃棄物	ごみ焼却量	燃烧室ガス温度	集じん器 入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O <sub>2</sub> 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
				t	℃	℃	ppm	
有明	400	1号炉	可 燃 炉	5,237.93	941～1,144	169～175	3～101※①	ボイラ設備の除じんはボイラスートブロワ又はボイラ植打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。
		2号炉		4,316.31	954～1,117	170～176	2～66	
千歳	600	1号炉		13,835.03	970～1,152	155～375※②	0～15	
江戸川	600	1号炉		974.59	874～927	170～171	0～1	
		2号炉		7,817.90	878～986	170～171	0～12	
墨田	600	1号炉		14,341.99	1,020～1,202	160～165	0～1	
北	600	1号炉		14,494.17	958～1,108	161～171	4～24	
新江東	1,800	1号炉		15,566.32	959～1,168	167～172	0～22	
		2号炉		16,162.85	919～1,130	167～171	0～26	
		3号炉		焼却炉停止中				
港	900	1号炉		8,341.04	945～1,256	166～169	1～25	
		2号炉		8,586.72	929～1,226	168～170	0～26	
		3号炉		8,399.20	954～1,250	165～168	0～28	
豊島	400	1号炉		1,936.44	876～911	166～169	0～33	
		2号炉		3,160.27	875～927	165～167	3～49	
渋谷	200	1号炉		5,153.47	924～1,016	144～154	1～37	
中央	600	1号炉		1,579.16	973～1,092	148～152	2～22	
		2号炉		8,213.48	927～1,194	148～152	0～20	
板橋	600	1号炉		6,720.27	1,001～1,243	159～163	0～14	
		2号炉		7,395.59	987～1,228	156～159	0～24	
多摩川	300	1号炉		2,421.56	886～1,009	155	0～4	
		2号炉		3,683.19	900～1,000	155	0～7	
足立	700	1号炉		7,921.84	905～1,057	171～174	0～12	
		2号炉		3,512.87	922～1,082	172～173	1～12	
品川	600	1号炉	7,436.71	888～1,042	160～162	0～54		
		2号炉	7,418.96	889～1,047	160～163	0～39		
葛飾	500	1号炉	844.67	994～1,104	159～160	2～15		
		2号炉	5,773.47	907～1,085	158～163	1～28		
世田谷	300	1号炉	3,952.36	859～1,080	167～186	0～46		
		2号炉	2,170.45	880～1,055	167～183	0～57		
大田	600	1号炉	8,565.71	914～1,006	148～163	4～32		
		2号炉	8,615.98	912～1,012	148～163	4～36		
練馬	500	1号炉	3,321.65	877～1,009	155～167	1～107※③		
		2号炉	7,335.99	869～1,005	156～167	1～49		
杉並	600	1号炉	5,736.13	887～992	152～158	0～62		
		2号炉	5,817.30	918～1,049	149～154	0～44		

注:大田清掃工場 第一工場、中防灰溶融施設、破碎ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(\*)

平成30年度 維持管理状況(4月1日～30日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 有明清掃工場 1号炉4月5日(木) 22:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で101ppmを記録した。  
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。  
直ちにフィーダ速度の調整及びクリンカロラの運転間隔の変更を行い、燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。
- ② 千歳清掃工場 1号炉4月30日(月) 11:00  
集じん器入口ガス温度が、375℃を記録した。  
原因は、集じん器入口ガス温度測定用熱電対の交換の際に、  
熱電対を取り外している間の測定値が、測定範囲の最大値で記録されたことによる。  
作業終了後、直ちに維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。
- ③ 練馬清掃工場 1号炉4月1日(日) 3:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で107ppmを記録した。  
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。  
直ちに、燃焼用空気流量、ごみ供給量及び燃焼火格子運転の調整、ごみの攪拌を行い  
燃焼改善を行った。  
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。